

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月11日 更新

事務事業名		ごみ収集運搬関係事業		<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展				
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康	所属部	市民生活部			
	施策	18	廃棄物の抑制とリサイクルの推進	所属課	環境衛生課			
	業務分野	61	ごみの発生抑制とリサイクルの推進	所属班	環境衛生班			
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、合志市廃棄物の処理及び清掃 合志市ごみ一時保管所整備費補助金交付要綱、合志市再生資源保管
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)			

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	ごみ収集運搬に関しては家庭系一般廃棄物と事業系一般廃棄物に大別される。 【家庭系一般廃棄物】家庭から排出されるごみを収集し、菊池広域連合の処理施設で適正に処理するため、市民へのごみ分別の周知徹底、ごみに関するトラブル対応、ごみ収集業務の民間委託、資源物の持ち去り行為に対する取締り等を行っている。 【事業系一般廃棄物】事業所から出る一般廃棄物について、処理の方法等の周知・指導等を行っており、各事業所から排出される一般廃棄物の量を管理し、適正なごみ分別やごみ減量への助言・指導を実施している。 ごみステーション等の清潔保持のため、①ごみ一時保管所及び②再生資源集団回収保管所の整備等を行うにあたり、その管理を担う自治会等の負担を軽減するための補助を行う。(①平成11年度開始、1箇所当たり整備費用の1/2、上限50,000円 ②平成26年度開始、1箇所当たりの経費の2/3、上限100,000円)
【業務の流れ】	ごみ収集予定表等(ごみ収集予定表・ごみの分け方出し方等)の作成・配布に関する事務(施行伺・入札・契約・内容校正・納品・支払・配布)、収集運搬業務委託(民間2社)に関する事務(施行伺・見積徴収・契約・業務実施・委託費支払)、ごみに関するトラブルの対応、資源物持ち去り行為に対する取締り(早朝パトロールの実施、行為者に対して直接指導)、事業系一般廃棄物の管理(収集運搬許可業者からの月報による事業所毎のごみ量の把握)及び事業所に対する分別等の周知・指導補助金の事前協議、補助金交付申請受付、審査、交付決定、支払事務、整備予定箇所調査
【主な予算費目】	給料、職員手当、報償費、需用費、役務費、委託料、備品購入費、公課費、負担金補助及び交付金(補助金)

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

ごみ収集運搬委託に係る一連の事務(業者選定、契約、支払等)及びごみ収集運搬量の確認事務、廃蛍光管収集用箱設置、拠点収集所巡回整理、廃食用油の巡回整理、ごみ一時保管所への資源物持ち去り禁止看板の設置や持ち去りパトロール、ごみ収集予定表を作成・配布を行った。上古閑サロンの方々を対象としたごみ分別の出前講座を実施した。各ごみステーション管理者(自治会等)が設置した自治会に対して補助を行った。(令和6年度 申請数18件、助成したごみステーションの数47か所、補助決定額735,927円) また、再生資源保管所を設置している団体に対し補助を行った。(令和6年度 申請数3件、助成した再生資源保管所の数6か所、補助決定額155,800円) 以上の成果として、合志市のごみの収集運搬を円滑に行うことができた。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

違反ごみや分別誤りが依然として発生しているため、引き続き周知を行い適正なごみ分別・収集運搬を図る。また、区・自治会への希望調査に基づき、家庭から排出される剪定樹木の分別収集を行うことにより可燃ごみの削減及び屋外燃焼行為の防止を図る。ごみ一時保管所整備補助、再生資源保管所整備費の補助を実施する。ごみ一時保管所整備費補助金については補助率を1/2から2/3に引き上げ、上限額も50,000円から100,000円に引き上げる要綱改正を行った(令和7年4月1日施行)ため、行政協働員会議での周知を行う。令和7年度より事務事業名を「ごみ処理及び収集運搬事業」に変更し、11237菊池広域連合負担金のうちごみ処理負担金と10116環境美化関係事業の環境美化推進員関係予算を移管。環境美化活動に取り組む環境美化推進員向けの説明会等を開催する。

③予算の主な増減の理由

菊池広域連合関係事業の菊池広域連合負担金のうちごみ処理費分を移管したことに伴う負担金の増

成果指標

ア	適正に回収されたごみの量	t	搬入集計表.xlsxより
イ	助成したごみステーションの数	件	ごみ一時保管所助成一覧.xlsxより
ウ	助成した再生資源保管所の数	件	ごみ一時保管所助成一覧.xlsxより

成果指標・総事業費の推移		単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
事業費	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円		250						
	地方債	千円								
	その他	千円	67,373	65,075	68,350	66,046	65,325	65,825	66,325	66,825
	繰入金	千円								
(A) 事業費計		千円	114,790	117,311	138,881	122,703	723,184	730,239	702,210	705,590
		千円	182,163	182,636	207,231	188,749	788,509	796,064	768,535	772,415

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

令和6年度は、14,128t(うち、11,709tを市業務委託により収集)のごみ排出があった。家庭から出たごみを各地区のごみ一時保管所(ごみステーション)から処理施設へ収集運搬する委託業務、ごみ収集予定表の作成、冊子『ごみの分け方・出し方』、外国人に向けた『簡易版ごみの分け方出し方』の配布など、市民に対し分別の周知等も行った。今後も分別と再生資源化を徹底し、さらにリサイクルを進める。各ごみステーション管理者(自治会等)が設置した自治会に対して補助を行っている(令和6年度 申請数18件、助成したごみステーションの数47か所、補助決定額735,927円) また、再生資源保管所を設置している団体に対し補助を行っている(令和6年度 申請数3件、助成した再生資源保管所の数6か所、補助決定額155,800円)。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)